

地域子ども・子育て活動支援助成事業 実施報告書（別紙2）

団体名	NPO 法人アイゼン
-----	------------

取組の名称	百合ヶ丘・新百合ヶ丘・柿生片平・南生田 子ども食堂
実施場所	<p><b>百合ヶ丘第1会場</b>  <b>漁魚の海</b>          麻生区百合丘1-16-36</p> <p><b>②百合ヶ丘第2会場</b>  <b>百合丘ルミナス保育園</b>          麻生区百合丘1-9-2</p> <p><b>③新百合ヶ丘会場</b>  <b>麻生プレップスクール</b>          麻生区万福寺1丁目10-10</p> <p><b>④柿生片平会場</b>  <b>「結」ケアセンターあさお</b>          麻生区片平2-22-1-103</p> <p><b>⑤南生田会場</b>  <b>「結」ケアセンターいくた</b>          多摩区南生田1-32-7</p>
対象地域	①②百合ヶ丘駅 周辺 ③新百合ヶ丘駅 周辺 ④柿生駅 周辺 ⑤南生田1丁目 近隣
対象地域の特色・課題	<p>◆特色</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新興住宅街や高級マンションがあり、共働きの子育て世代が多くいる。</li> <li>・その中に貧困も交じっているが親が他から貧困がわからないように努力している。</li> <li>・他地域より定住した人が多く地元と関わりの人が少ない。</li> <li>・小田急線が谷沿いにある、その両側が丘になっているよ</li> </ul>

	<p>うな地形で山坂が多く商店・飲食店は駅前に集中している。</p> <p>◆課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・待機児童、共働き家庭によるこどもが求めるまちのひろば的な居場所が少ない。</li> <li>・共働き家庭への支援が少なく感じている人が多い。</li> <li>・学生が望むボランティア活動の場が少ない。</li> </ul>		
取組の趣旨・目的	<p>◆わくわくプラザや習い事から帰って一人ご飯を食べている子どもや、子育てで頑張っている働くパパ・ママが、地域で安全・安心に過ごせる居場所づくり。</p> <p>◆子ども・若者が健やかに成長できるよう、地元法人や店舗、地元住民や学生と連携・協働しながら、地域のつながり、互いに助け合い・支えあうことのできるまちづくり</p>		
実施内容・実施スケジュール	各会場月1回、年間12回開催。		
参加者の年代	子 5歳～13歳 親 30～45歳	定員 (1回あたり)	145名
実施頻度	月1回	活動日数 (年間)	60日
スタッフ体制	<p>理事 3名</p> <p>開催場所のスタッフの協力 10名くらい</p> <p>ボランティア 30名程度</p> <p>合計30～40名/回</p>		
連携する団体・連携の手法	<p>◆実施場所</p> <p>漁魚の海 麻生区百合丘1-16-36</p> <p>百合丘ルミナス保育園 麻生区百合丘1-9-2</p> <p>麻生プレップスクール 麻生区万福寺1丁目10-10</p> <p>「結」ケアセンターあさお 麻生区片平2-22-1-103</p> <p>「結」ケアセンターいくた 多摩区南生田1-31-7</p> <p>※今年度は助成金対象外で他1ヶ所開設中野島</p> <p>◆チラシを配布</p> <p>多摩・麻生区の保育園・幼稚園・商店など40ヶ所以上</p> <p>麻生区小中学校へ6000枚のチラシ配布 年6回</p> <p>◆WEB</p>		

	<p>Facebook、Twitter、WEB</p> <p>※WEB 内広告を企業支援で掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆タウンニュース（企業支援で有料広告・無料取材）</li> <li>◆市政記者クラブヘチラシの配布</li> </ul>
<p>取組実施により 見込まれた効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆同世代のお母さんの交流の場になっている。</li> <li>◆世代が変わっても保育園の子ども口コミで広がっている。</li> <li>◆保育園の帰りのお母さんの団体で来ることが多い。親子でわいわいしながら食べられる場所は少ないらしい。</li> <li>◆小学生と親との待ち合わせ場所で使っている。</li> <li>◆小学生だけで参加する子が増えている。</li> <li>◆日本女子大学付属高校・百合丘高校・都立立川高校などの生徒がボランティアで10名程度参加。</li> <li>◆2つのロータリークラブより寄付金10万円ずつ20万円程度集まった</li> <li>◆寄付金が他にも①募金形式 ②振込で入っている。</li> <li>◆麻生川桜祭りでの広報活動の認知度が広がっている。</li> <li>◆チラシを小中学校で配布できるようになりかなり増えている。</li> <li>◆同日で多摩SDCと連携して行っている。</li> <li>◆参加者の問い合わせはWEBが多い。</li> <li>◆子供服などの寄付なども頂く。</li> <li>◆園児が学生ボランティアと交わっている姿</li> <li>◆わくわくぷらざのアルバイトがボランティアで加わっている。</li> <li>◆川崎市に住んでいる学生ボランティアが継続して増えている</li> <li>◆協力企業のご家族のボランティアもある。</li> <li>◆今年度もコロナ禍においても活動で苦勞をした。しかし大学生が地元にいることが多かったのでボランティアが急増した年になった。その反面30歳以上の主婦などのボラ</li> </ul>

	ンティアの応募が減った。
--	--------------